

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・普通学級・Ⅰ 類型・2グループ		担当者名	○藤原 吉洋
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末等やアプリの操作方法について、基礎的な知識と生活に役立つ技能を身に付ける。 (2)情報機器を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集を行おうとする。			
曜日・校時・時間		木曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		3年C組教室			
年間授業時数		34.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	いろいろな入力方法を 使ってみよう!	3	○ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体験して、自分がやりやすい入力方法を知る。 □キーボード設定を含め、様々な入力方法を試す。(知識・技能) □自分に合った入力方法を選択する。(思考・判断・表現)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
5	様々な標準アプリの便利な使い方を体験しよう!	9	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「えこみゅ」の使って必要なカードを作り会話してみる。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見える。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、記録できる機能を知る。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現) ○タブレットで絵を描くことでタッチペンの使い方も知る。 □タッチペンを使い、アプリ「フリーボード」で好きな絵を描き、色を塗り保存する。 ○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
6	タッチペンを使い、絵を描こう!				
7	アクセシビリティ機能を 活用しよう!				
9	興味が広がるアプリを 使ってみよう!	3	○趣味を広げたり、卒業後の生活につながるアプリを体験する。 □「ガレッジバンド」を使って、音楽に触れる。 □興味のあるARアプリをインストールして、拡張現実を体験する。		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
10	動画を撮ろう! 動画を加工しよう!	5	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思考・判断・表現) □I-movieやClipsを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現)		
11					
12	文化祭ポスターを作ろう!	5	○これまで習得してきた知識・技能を活用してポスターを作成する。 □フリーボード、生成AIによるイラスト生成、サファリの検索等、素材画像を作成する。(思考・判断・表現) □文書作成アプリを使って、画像を編集・加工するなどしてポスターを作成する。※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
1	アプリやインターネットを使って校外学習先について調べてまとめてみよう! クイズを作成してみよう!	7	○検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット機能や文書作成アプリを使って、情報をデザインする(まとめて発表する。) □サファリで検索(見学先サイト)や「マップ」などを活用し、校外学習の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選択して、文書作成アプリにまとめる。(思考・判断・表現) □発表し仲間と共有する。(主体的に学習に取り組む態度)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
2					
3	卒業後に向けて端末を整備しよう!	2	○卒業後の生活に関わる情報セキュリティーや情報モラルの基礎を知る。 □情報セキュリティーや情報モラルについて教材動画を閲覧して学ぶ。(知識・技能) □不要なデータ、使用できなくなるアプリ等を整理するなどホーム画面を整備する。(思考・判断・表現)		・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
備考		学習内容によっては、ICT支援員に継続的に授業に入ってもらおう。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、3・4グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅰ 類型・普通学級・3グループ		担当者名	○赤瀬 匡紀
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末等やアプリの操作方法について、基礎・応用的な知識と生活に役立つ技能を身に付ける。 (2)情報機器を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集を行おうとする。			
曜日・校時・時間		木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		パソコン室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	体育祭ポスターを作ろう！	7	○これまで習得してきた知識・技能を活用してポスターを作成する。 □フリーボードを使ってポスター素材となる絵を描く。カメラを使い、校内でポスター素材となる画像を撮影する。生成AIを使い、イラストを生成する。ポスター素材となる画像をサファリで検索するなどして素材画像を作成する。(思考・判断・表現) □文書作成アプリ、プレゼンテーションアプリなどを使って、画像を編集・加工するなどしてポスターを作成する。 ○ネット詐欺、SNSによる誹謗中傷、フェイク動画など、ネット社会における危険性について知る。 □情報リテラシーについて、自身の事として考える。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
5	ネット社会の危険性について考えよう！				
6	デジタル掲示板を使って、共同作業をしてみよう！	6	○デジタル掲示板・ホワイトボードアプリを使い、習得した技能を活用し、画像やコメントなどを1つのボードに貼り付けて共有する体験をする。 □オンライン(ウェブ)上で使えるデジタル掲示板を使い、自分の趣味や好きな画像を1つのホワイトボード画面に貼り付け、グループで共有して鑑賞する。(思考・判断・表現) □コメントなども貼り付けられる技能を身に付ける。(知識・技能)		
7					
9	興味が広がるアプリを使ってみよう！	3	○趣味を広げたり、卒業後の生活につながるアプリを体験する。 □作曲アプリを使って、音楽に触れる。 □興味のあるARアプリをインストールして、拡張現実を体験する。	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
10	動画を撮ろう！ 動画を加工しよう！	5	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思考・判断・表現) □動画編集アプリを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現)		
11					
12	文化祭ポスターを作ろう！	5	○これまで習得してきた知識・技能を活用してポスターを作成する。 □描画アプリ、生成AIによるイラスト生成、検索アプリを使った検索等、素材画像を作成する。(思考・判断・表現) □文書作成アプリ、プレゼンテーションアプリなどを使って、画像を編集・加工するなどしてポスターを作成する。※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
1	アプリやインターネットを使って校外学習先について調べてまとめてみよう！ クイズを作成してみよう！	7	○検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット機能や文書作成アプリ、プレゼンテーションアプリなどを使って、情報をデザインする(まとめて発表する。)。 □検索アプリで検索(見学先サイト)やマップアプリなどを活用し、校外学習の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選択して、文書作成アプリ、プレゼンテーションアプリにまとめる。(思考・判断・表現) □発表し仲間と共有する。(主体的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
2					
3	卒業後に向けて端末を整備しよう！	2	○卒業後の生活に関わる情報セキュリティーや情報モラルの基礎を知る。 □情報セキュリティや情報モラルについて教材動画を閲覧して学ぶ。(知識・技能) □不要なデータ、使用できなくなるアプリ等を整理するなどホーム画面を整備する。(思考・判断・表現)	・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
備考		学習内容によっては、ICT支援員に継続的に授業に入ってもらう。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、3・4グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅰ類型・普通学級・4グループ		担当者名	○藤原 吉洋
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末等やアプリの操作方法について、基礎・応用的な知識と生活に役立つ技能を身に付ける。 (2)情報機器を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集を行おうとする。			
曜日・校時・時間		木曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		3年D組教室			
年間授業時数		35.0 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	体育祭ポスターを作ろう！	7	○これまで習得してきた知識・技能を活用してポスターを作成する。 □フリーボードを使ってポスター素材となる絵を描く。カメラを使い、校内でポスター素材となる画像を撮影する。生成AIを使い、イラストを生成する。ポスター素材となる画像をサファリで検索するなどして素材画像を作成する。(思考・判断・表現) □文書作成アプリを使って、画像を編集・加工するなどしてポスターを作成する。 ○ネット詐欺、SNSによる誹謗中傷、フェイク動画など、ネット社会における危険性について知る。 □情報リテラシーについて、自身の事として考える。(思考・判断・表現)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。
5	ネット社会の危険性について考えよう！				
6	デジタル掲示板を使って、共同作業をしてみよう！	6	○デジタル掲示板・ホワイトボードアプリを使い、習得した技能を活用し、画像やコメントなどを1つのボードに貼り付けて共有する体験をする。 □オンライン(ウェイブ)上で使えるパドレット(Padlet)を使い、自分の趣味や好きな画像を一つのホワイトボード画面に貼り付け、グループで共有して鑑賞する。(思考・判断・表現) □コメントなども貼り付けられる技能を身に付ける。(知識・技能)		・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
7					
9	興味が広がるアプリを使ってみよう！	3	○趣味を広げたり、卒業後の生活につながるアプリを体験する。 □「ガレッジバンド」を使って、音楽に触れる。 □興味のあるARアプリをインストールして、拡張現実を体験する。		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
10	動画を撮ろう！ 動画を加工しよう！	5	○動画情報を記録し、管理・活用できる。 □カメラの動画機能を使い、動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思考・判断・表現) □I-movieやClipsを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現)		
11					
12	文化祭ポスターを作ろう！	5	○これまで習得してきた知識・技能を活用してポスターを作成する。 □フリーボード、生成AIによるイラスト生成、サファリの検索等、素材画像を作成する。(思考・判断・表現) □文書作成アプリを使って、画像を編集・加工するなどしてポスターを作成する。※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
1	アプリやインターネットを使って校外学習先について調べてまとめてみよう！ クイズを作成してみよう！	7	○検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット機能や文書作成を使って、情報をデザインする(まとめて発表する。) □サファリで検索(見学先サイト)や「マップ」などを活用し、校外学習の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選択して、文書作成アプリにまとめる。(思考・判断・表現) □発表し仲間と共有する。(主体的に学習に取り組む態度)		
2					
3	卒業後に向けて端末を整備しよう！	2	○卒業後の生活に関わる情報セキュリティーや情報モラルの基礎を知る。 □情報セキュリティーや情報モラルについて教材動画を閲覧して学ぶ。(知識・技能) □不要なデータ、使用できなくなるアプリ等を整理するなどホーム画面を整備する。(思考・判断・表現)		・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
備考		学習内容によっては、ICT支援員に継続的に授業に入ってもらう。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、3・4グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅱ類型・普通学級・5グループ		担当者名	○菅原 貫人
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、応用的な知識と、生活に役立つ技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		水曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		パソコン室または視聴覚室等			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	ネット社会の危険性について考えよう！	3	○ネット詐欺、SNSによる誹謗中傷、フェイク動画など、ネット社会における危険性について知る。 □情報リテラシーについて、自身の事として考える。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
5	プログラミングを体験しよう！	4	○プログラミングアプリやロボット教材を使い、プログラミングの基礎を学ぶ。 □アプリ「Viscuit」や「スクラッチジュニア」を使い、描いた絵やキャラクターを意図した動きで移動させる。(知識・技能)		
6	学校紹介ポスターを作ろう！	6	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、貼り付ける。 □紹介するテーマを決めて、校内の該当する場所・風景・物などを撮影する。(知識・技能) □写真を開き、撮影した画像を文章作成アプリに貼り付け、イラストを描いて挿入したり、必要な文字情報を入力するなど、加工してデザインする。(思考・判断・表現) ※作品は掲示し、一定期間後、家庭に持ち帰る。		
7					
9	興味が広がるアプリを使ってみよう！	3	○趣味を広げたり、卒業後の生活につながるアプリを体験する。 □「ガレッジバンド」を使って、音楽に触れる。 □興味のあるARアプリをインストールして、拡張現実を体験する。	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
10	学校生活の思い出動画を作ろう！	10	○これまで習得してきた知識・技能を活用して動画を編集できる。 □教員の共用端末から画像等をAirDropで受け取る。(知識・技能) □カメラの動画機能を使い、校内の動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思考・判断・表現) □動画編集アプリを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現) □完成した動画をPadletで共有して鑑賞する。※作品の一部は文化祭で公開する。		
11					
12					
1	アプリやインターネットを使って校外学習先について調べてまとめてみよう！ クイズを作成してみよう！	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能やアプリ文章作成アプリなどを使って、情報をデザインする(まとめて発表する)。 □サファリで検索(校外学習先)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、情報を検索する。(知識・技能) □興味をもった情報を選択し、文章作成アプリにまとめたり、「Forms」でクイズを作成する。(思考・判断・表現) □発表し仲間と共有する。(主体的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
2					
3	卒業後に向けて端末を整備しよう！	2	○卒業後の生活に関わる情報セキュリティーや情報モラルの基礎を知る。 □情報セキュリティーや情報モラルについて教材動画を閲覧して学ぶ。(知識・技能) □不要なデータ、使用できなくなるアプリ等を整理するなどホーム画面を整備する。(思考・判断・表現)	・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。	
備考		学習内容によっては、ICT支援員に授業に入ってもらおう。 生徒の実態に応じて、毎回の授業の中でタイピングの時間を設定する。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、5・6グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		3年・Ⅱ類型・普通学級・6グループ		担当者名	○鈴木 豊
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、応用的な知識と、生活に役立つ技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現したりすることができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		水曜日・4時間目・10:45～11:35			
指導場所		パソコン室または視聴覚室等			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	ネット社会の危険性について考えよう！	3	○ネット詐欺、SNSによる誹謗中傷、フェイク動画など、ネット社会における危険性について知る。 □情報リテラシーについて、自身の事として考える。(思考・判断・表現)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
5	プログラミングを体験しよう！	4	○プログラミングアプリやロボット教材を使い、プログラミングの基礎を学ぶ。 □プログラミングアプリを使い、描いた絵やキャラクターを意図した動きで移動させる。(知識・技能)		
6	学校紹介ポスターを作ろう！	6	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、貼り付ける。 □紹介するテーマを決めて、校内の該当する場所・風景・物などを撮影する。(知識・技能) □写真を開き、撮影した画像を文書作成アプリやプレゼンテーションアプリに貼り付け、イラストを描いて挿入したり、必要な文字情報を入力するなど、加工してデザインする。(思考・判断・表現) ※作品は掲示し、一定期間後、家庭に持ち帰る。		
7					
9	興味が広がるアプリを使ってみよう！	3	○趣味を広げたり、卒業後の生活につながるアプリを体験する。 □「ガレッジバンド」を使って、音楽に触れる。 □興味のあるARアプリをインストールして、拡張現実を体験する。		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
10	学校生活の思い出動画を作ろう！	10	○これまで習得してきた知識・技能を活用して動画を編集できる。 □教員の共用端末から画像等をAirDropで受け取る。(知識・技能) □カメラの動画機能を使い、校内の動画や写静止画像を撮る。(知識・技能) □写真を開き、必要な静止画像や動画を選択したり、不必要な動画を削除する。(思考・判断・表現) □動画編集アプリを使い、選択した動画を編集する(つなぐ)。テキストやステッカーを挿入する。標準ミュージックから好きなバックグラウンドミュージックを選択して動画に挿入する。(思考・判断・表現) □完成した動画をPadletで共有して鑑賞する。※作品の一部は文化祭で公開する。		
11					
12					
1	アプリやインターネットを使って校外学習先について調べてまとめてみよう！ クイズを作成してみよう！	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能や文書作成アプリ、プレゼンテーションアプリなどを使って、情報をデザインする(まとめて発表する)。 □サファリで検索(校外学習先)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、情報を検索する。(知識・技能) □興味をもった情報を選択し、文書作成アプリやプレゼンテーションアプリにまとめたり、アンケート集約アプリでクイズを作成する。(思考・判断・表現) □発表し仲間と共有する。(主体的に学習に取り組む態度)		・教授的な授業にならないように、生徒が具体的な操作をとおして学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・今年度は教科書を3年は購入していないため、必要に応じて補助プリント等を使用する。
2					
3	卒業後に向けて端末を整備しよう！	2	○卒業後の生活に関わる情報セキュィティーや情報モラルの基礎を知る。 □情報セキュィティーや情報モラルについて教材動画を閲覧して学ぶ。(知識・技能) □不要なデータ、使用できなくなるアプリ等を整理するなどホーム画面を整備する。(思考・判断・表現)		
備考		学習内容によっては、ICT支援員に授業に入ってもらおう。 生徒の実態に応じて、毎回の授業の中でタイピングの時間を設定する。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、5・6グループ合同で行う場合もある。			